

中国における社会調査：コメント

園田 茂人

(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科)



自分自身の経験と感想

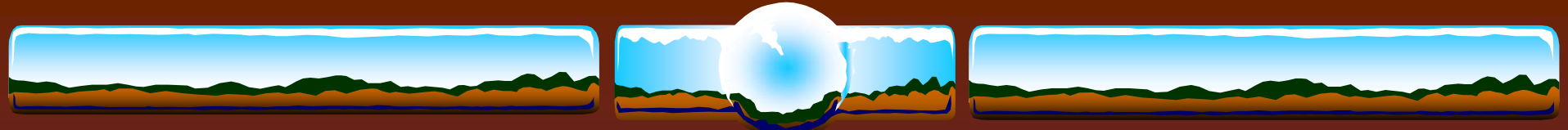
* 調査をめぐる理想と現実:

- ・内発的動機かどうか
- ・可能な調査かどうか
- ・妥当な調査かどうか

* 変化する調査環境: データ過小からデータ過剰へ?

* 変化する研究環境: 中国研究者のレベルの高さ

* 自分自身の経験: 質問票調査が多かったワケ



日本的特徴をもつ社会調査？

- * 「現地を（細かく）理解すること」への強い拘り
- * 中途半端な外国人としての日本人：中途半端な「現地化戦略」？
- * 理論をどのように調査に盛り込むか：「単純だから注目を浴びる」というパラドクス



社会調査の今後の展開

- *「知る」から「わかる」へ:「外国人」であることの弱みと強み
- *「個人として」「オリジナル」な調査への挑戦:調査蓄積を知るということ
- *「中国らしさ」はどこにあるか:中国を理解することのフロンティア